

VISICUBE™ 2

循環器用超音波画像診断装置

EVTモード使用方法

テルモ株式会社

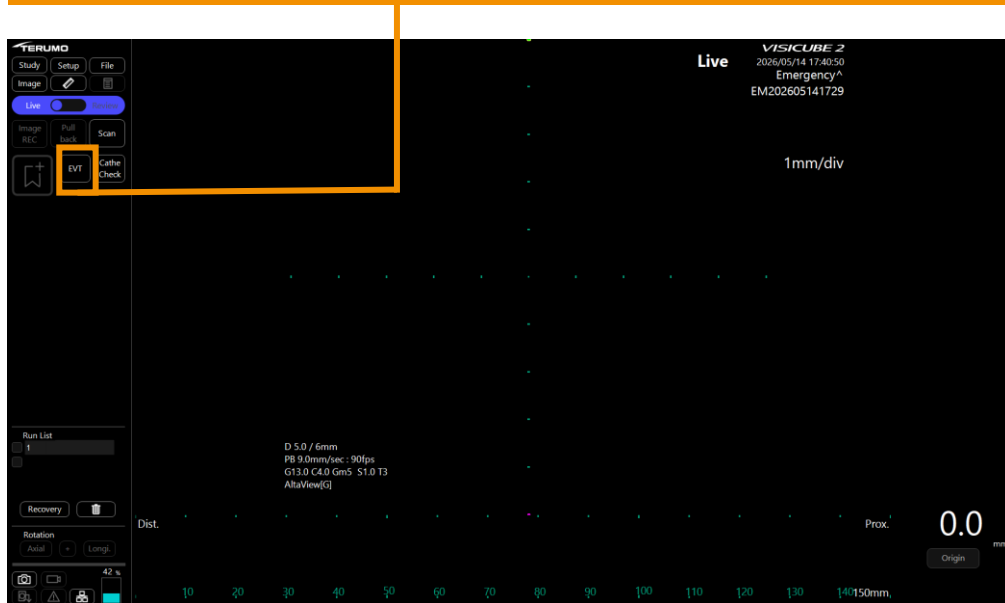


VISICUBE2 EVT modeのご紹介

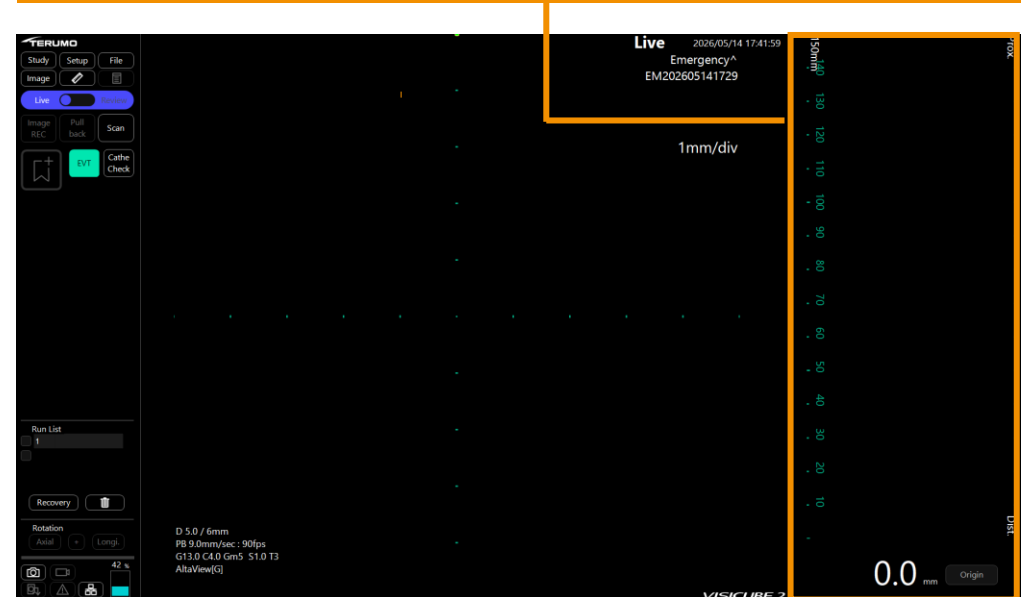
EVT modeの撮像設定

■  をクリックすることで長軸画像を縦側表示に切り替えることが可能

Live mode左上の  をクリック



血管走行がイメージしやすい縦型表示に



補足：EVT modeのDistal位置の変更

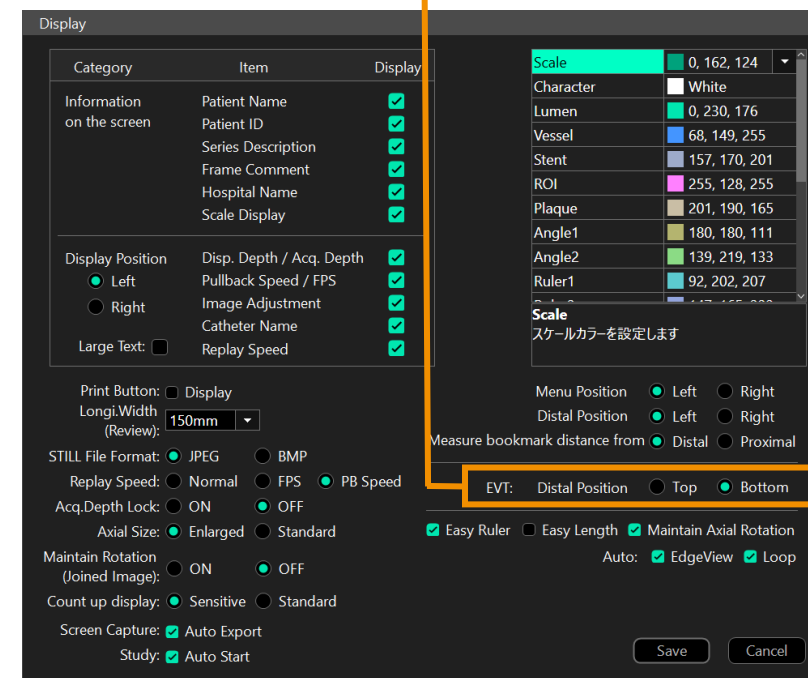
■ 長軸のDistal / Proximalは任意に変更可能 (Default設定はDistal : Bottom)



ボタンから設定メニューを開く



DistalをTOP/Bottomに変更

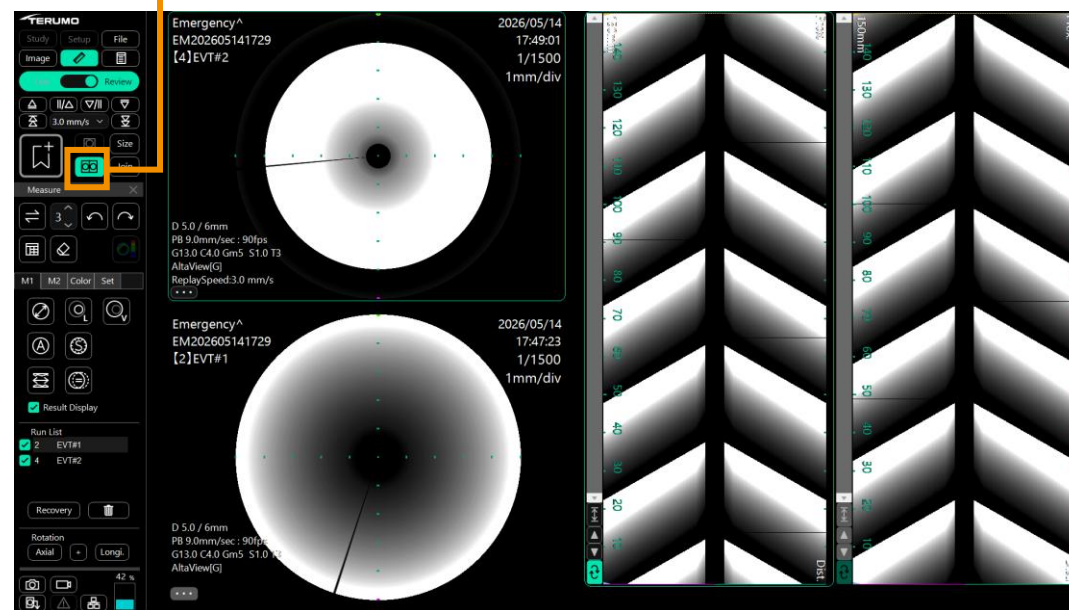
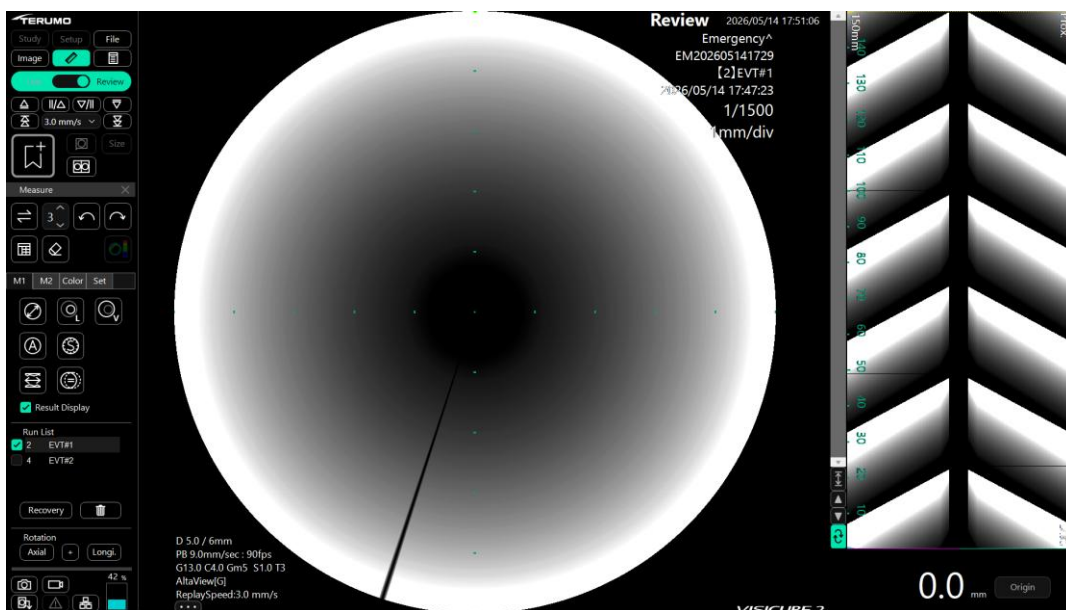


EVT modeでの2RUN結合 Join機能①

2つのRUNを結合し1つのRUNとして表示可能

2つ以上のRUN取得後、
Review modeに移行

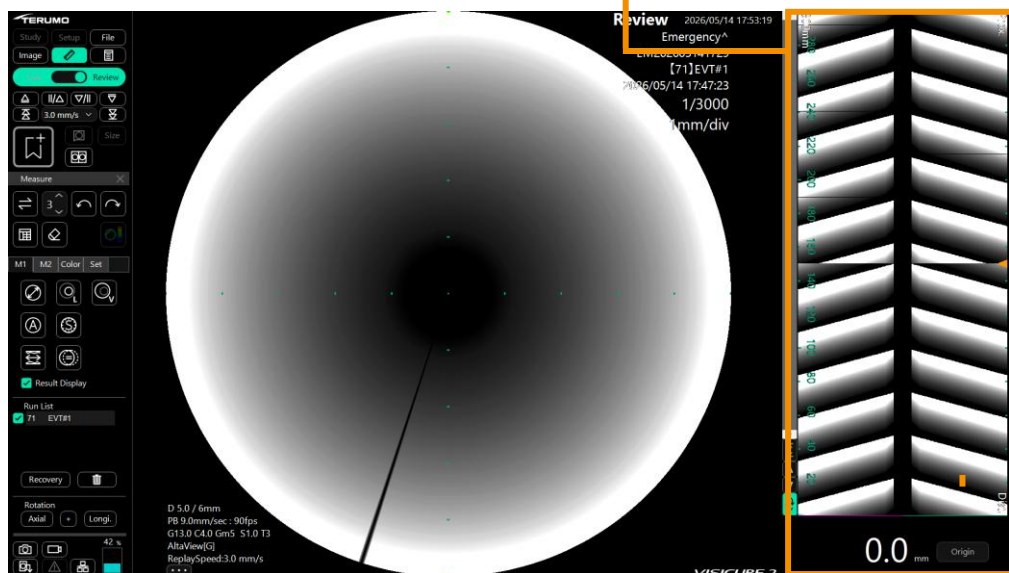
1つのRUN選択後に、 をクリック
2つ目のRUNを選択すると
短軸・長軸画面に2つのRUNが並ぶ



EVT modeでの2Run結合 Join機能②

■ 2つのRUNを結合することでLong lesionの観察をより分かりやすく

2つのRUN選択後に、**Join** をクリック
長軸が300mmまでの1つのRUNとなる



Join をクリック
結合有無でRUNの配置が違いため注意





*本製品の詳細は、電子添文及び取扱説明書をご参照ください。

一般的名称：循環器用超音波画像診断装置

販売名：ビジキューブ

特定保守管理医療機器 医療機器認証番号：227ABBZX00040000